# テーマ報告　2000年

**テーマ報告「市民参加と緑づくりー技術的展望ー」**

司会・進行：北海道大学大学院農学研究科　近藤　哲也

　本州では、すでに間伐や林床の下刈りなどの里山管理が市民参加の形で行われるようになって久しいが、北海道でも樹林地と市民とのかかわりに対する関心がとみに高まってきている。今回のテ－マ報告では、金清典広氏より、本州丹後半島での森林管理を、笠康三郎氏には、北海道函館での樹林地管理の取り組みを報告していただくことで、市民参加による里山・樹林管理のあり方について考える機会を持ちたい。

　また、緑づくりの技術のひとつとして植生管理による多様な植物群落を創出することが考えられる。北海道でも林床に美しい野生草花の群落を目にすることが少なくなく、美しい林床植物の咲く景観を創出することのできる潜在能力はかなり高いと思われる。このような、林床管理の試みも金清氏と笠氏に紹介していただく。とくに、今田昌宏氏には中標津における林床管理と林床植物群落の多様化との関連を具体的な資料で示していただく。

　北海道での植生管理は、事例の積み重ねと知見の蓄積の段階ではあるが、今後、適切な植生管理の技術を提示することができるようになれば、その技術を市民とともに実践して行くような方向が期待できるのではないだろうか。

　会場の方々の積極的なご意見を期待したい。

丹後での参加型の森林との関わりについて

高野ランドスケーププランニング（株） 金清　典広

公園内の樹林地管理のあり方について

日本データーサービス（株） 笠　康三郎

生態学的な視点での植生管理について

(株)キタバランドスケーププランニング 今田　昌宏